

# 越中一宮

高瀬神社社報

第27号

平成22年9月13日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 輝氏

## 社頭講話

## 「我がふる里」

宮司 藤井秀弘

地球上に生きるものは、それぞれ自分の生れたふるさとをもっています。道端に花を咲かせている雑草でも例外無く生れ故郷があります。植物などの場合、そこは「原産地」とも呼ばれます。海や川に棲息する魚や、山野を飛び回る虫や動物たちもふるさとをもっています。一生懸命生きています。

自分の生まれた川に帰って来る鮭や鱒、自分たちが生活する巣に重い荷物（えさ）を背負って帰る蟻、少しでも遠くへ自分の子孫を広げようとするタンポポ、昔から我が国で繁殖した在来種のタンポポ、近年外国から渡来した西洋タンポポ、同じように生毛をつけて風に吹かれて飛ぶ種である西洋タンポポの種子は遠くへ飛ぶよう在来種より軽くできています。高冷地の湿地帯に咲く水芭蕉は早春に花を咲かせるため、受粉作業を手伝う蝶や蜂は不活動中です。そこで水芭蕉や座禅草は、花の中を外気温よりも暖かくして土の中から這い出してきた虫たちを暖かい花の中へ誘い込み、花粉を運ばせるという工夫を

しています。それぞれ異なる環境に生きていますが、そこで生きる努力を続けています。それが自然というものです。それぞれが置かれた環境の中で日々命がけで生きている姿を見るにつけ、頭が下がる思いがしますが、このように生きる営みの出来るところが「ふるさと」なのだろうと思います。

人それぞれにふるさとがあり、それぞれの想いがあります。「俺の故郷は涼しい山村だ」という人もいれば、「俺のふるさととは漁村で、海鳴りが子守唄だった」という人もいます。各自の想いはそれぞれでも、自分の生れ育った土地や家の前に立つたとき、誰しも懐かしい思い出に心が癒されるのではないでしょう。ふるさととは素晴らしい療養の地でもあると思います。また、私の場合、生きるための知恵を教えてもらい、生きることの節理を体感させてもらったのもふるさとでした。子供の頃に経験した多くのこと（遊び・家の手伝い・家族や近所の大人との会話など）全てに無駄は無く、学びの地でもありました。現在も

地域の皆さんから様々な情報をいただいています。

慣れ親しんだ「ふるさと」から離れることなく老齢となった今、「ふるさと」をあらためて見つめ直してみると、歳老いて生きる者にとつて、この世で一番の楽園であり、一番の癒しの場であると思うのです。最近、百歳前後の老人たちが行方知れずになつているニュースを聞きましたが、寂しい思いがします。百歳を超えた家族または親族のことを放っておけるような人は我がふるさとはないと思いたいし、ふるさとを持つている人ならば、人との繋がりを大切にすると信じた方がいいと思います。そこそ長寿の意味も、長く生きたという実感を得ることになると思っています。

先日、「全国一の宮会」の総会に出席するために北海道札幌市へ行きました。ビルが立ち並び、通りにはたくさんの方が歩いていました。大都会となつている札幌市内ですが、明治時代から開発が進められ、北海道開拓団の先人たちの努力のもとに現在の繁栄がもたらされました。富山県からもたくさんの方が入植し、苦勞されて今日の繁栄を築かれました。砺波地区からも多くの方が北海道へ渡られ、集落をつくり、開拓に従事されました。現在、岩見沢市内に「砺波神社」という神社があります。御祭神は高瀬神社

から御分霊した「大国様」が祀られています。入植後、すぐに勧請されました。「ふるさと」の神社と同じ神様を祀り、村の鎮守様として崇め、心のよりどころとして敬い、氏子間の結束を強くされました。ふるさと「砺波」の風景を想い、故郷の人たちを想い、自分たちの新しいふるさとを作るために努力をされた方々の勇姿が目につかぶようです。その甲斐あって、現在は「岩見沢市栗沢町砺波」という新しいふるさとが出来上がりました。

ふるさとを離れ、ふるさとを想う心が、新しいふるさとをつくり、そこから巣立った人たちが、また新たなふるさとをつくっていく。世の中は常に新しい方向に変わって進んで行きますが、ふるさととは昔も今も変わらない姿であつてほしい。風景は大きく変わっても、せめてそこに住む人の心は変わらずにいてほしいと願っています。私たちは過去・現在・未来と繋がった世界に生きていますが、どの時代にあつても「ふるさと」は一番良いところ（楽園）であつてほしいと思います。ふるさとを愛するということ、人を愛し（福祉）、自然を愛し（環境保護）、国を愛する（護国）ことにつながり、大きくいえば大宇宙での私たちのふるさと「地球」を守ることに続いて行くのです。

祭事録

高瀬稲荷社例祭

六月三十日午前十時より末社「高瀬稲荷社」の例祭が斎行されました。

梅雨の時季にもかかわらず好天に恵まれ、講員三十名参列のもと、社殿前庭にて行われました。

御本殿では祭典に引き続き「商売繁盛祈願祭」が執り行われ、商売繁盛・職場の安全が祈願されました。



夏越の大祓

六月三十日午後三時より「夏越の大祓」が斎行されました。

参列した氏子崇敬者約二百名は、知らず知らずのうちに犯し、身についた半年の罪・穢を祓い、向拝に設置された「茅の輪」をくぐり、心身を清め、残りの半年を清々しく過ごせるよう祈念しました。



除熱祭

七月二十一日午前十時より「除熱祭」が斎行されました。

御本殿での祭典につづき、神職が献穀田に赴き、順調に成育するようにを祓い清めました。

夕刻には氏子有志による「熱おくり太鼓」が町内を練り歩き、暑さ厳しい夏を乗り切り、稲や畑作物に災害なく無事に生育するよう祈願しました。



高瀬村委員の皆さん



七夕祭

八月七日午後三時より「七夕祭」が斎行されました。当日はあいにくの雨でしたが、多くの子供達参列のもと短冊に書き記した願い事が叶うよう、神様にお願いをしました。

七夕期間中は、地元高瀬保育園や山野保育園の児童をはじめ、多くの参拝者が記した短冊で賑わっていました。



高瀬保育園の皆さん



# 「第十回人形感謝祭」 「第十回人形展」開催

「第十一回人形感謝祭」が去る七月十八日午前十時より斎行され、壊れたり古くなったりした「日本人形」や「ぬいぐるみ」など約二〇〇〇体に、感謝の誠心を捧げました。「人形感謝祭」にあわせ、七月十八日より二十日まで「第十回人形展」一期一会一人形といけばな「いのち出逢うとき」が開催されました。

木彫や和紙・ガラス作家十八名の創作人形一〇〇点余りの人形が展示され、いけばな草月流富山県支部「秀抱会」により会場が装飾されました。また、本年は第十回目の特別企画として中国横笛奏者の門島寿人氏による演奏会が催され、期間中は大勢の人で賑わいました。



▽監修  
梅崎 親美



池田由美子 (砺波市)



飛騨山静恵 (富山市)



松本 昌子 (南砺市)



八木 裕子 (富山市)



荒井 恒雄 (南砺市)



牛島 辰馬 (南砺市)



木村 正和 (南砺市)



安達 陽子 (砺波市)



田中 孝明 (南砺市)



長谷川創一 (砺波市)



野村 幸子 (南砺市)



吉田 恵子 (砺波市)



花嶋伊都子 (南砺市)



吉水高佳代 (富山市)



鷲塚 貴紀 (射水市)



小幡 祐嗣 (富山市)



嶋田 数男 (砺波市)



草月流富山県支部「秀抱会」会長 梅崎秀鈴

# 参拝日誌抄

(平成二十二年六月～八月・敬称略)

## 〔六月〕

八日

氏子清掃奉仕(村総出)

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)

十四日

大石地区氏子総代会(福井県)

会長 坪川竜旨

以下二十六名

十八日

神社本教巡拝旅行会

地主神社宮司 中川 平

十九日

高瀬遺跡菖蒲まつり実行委員会

以下十四名

二十日

拜殿大提灯奉納奉告祭

齊藤大直(奉納者)

三十日

高瀬稲荷講 商売繁盛祈願祭

## 〔七月〕

一日

中越パッケージ(株)砺波工場

中越パッケージ(株)富山工場

中越パッケージ(株)福光工場

六名

川田工業(株)

三十名

建設業労働災害防止協会

富山県支部砺波分会 五十名

(社)富山県労働基準協会

砺波支部 七十名

タカハタ工業(株)

タカハタ工業(株)親和会 九十名

三日

松本建設(株)

砺波高校野球部 三十名

四日

利奈美雅楽会(雅楽奉納)

三十名

五日

神社庁砺波支部役員

井波中学校職場訪問 三名

九日

斎藤ひとり一宮巡拝会

二十六名

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)

十五日

福野高校野球部

福光高校野球部 十七名

十八日

門嶋寿人(中国笛奏者)

鹿熊安正

十九日

神社庁砺波支部例会

神社総代会砺波支部役員

二十一日

町田天満宮

名誉宮司 池田道夫

以下二十名

二十八日

神道青年全国協議会

青少年育成事業検討委員長

田村康雄

監事 上田正宙

## 〔八月〕

八日

第五十三回富山県神社総代会

砺波支部総会

神社総代会砺波支部

「国家隆昌祈願祭」

十三日

庄川中学校職場体験学習 三名

十四日

高瀬小学校

昭和三十八年度卒業同級会

(還暦参拝) 二十六名

二十一日

南砺市長 田中幹夫

となみ野一〇〇〇歩徒歩の旅

二二〇名

## 団体参拝のご案内

事業所の安全祈願・創立記念日等の各種祈願を随時受け付けております。詳細は社務所までおたずね下さい。

(初穂料) 一〇,〇〇〇円

### 諸催事のこと

## 国家隆昌祈願祭

去る八月八日、「富山県神社総代会砺波支部総会」が開催され、総会に先立ち「国家隆昌祈願祭」を斎行し致しました。

祭典後には神様の大前において、多年にわたり社務運営に寄与された方々に、山田支部長より感謝状と記念品が贈られました。

総会には約二〇〇名の総代・役員が出席し、福岡町の洋遊会会長・上野慶夫氏より「雅楽千三百年のクラシック〜王朝の芸能へのお誘い〜」と題して、記念講演をいただきました。



シリーズ

# 高瀬の今昔

いまむかし

⑥

## 「浦安の舞のこと」

高瀬神社では例祭（神社の祭典で最も重要な祭礼）をはじめ、祈年祭、春季祭、祈年穀祭、新嘗祭を大祭として斎行し、鳳鳴クラブの奏楽により「浦安の舞」が奉納されます。

この浦安の舞は昭和八年、昭和天皇が歌会始にお詠みになった御製（天皇が作られた和歌）に、宮内庁楽長・多忠朝（おおのただとも）氏が作曲・振り付けされた舞で、皇紀二千六百年（昭和十五年）を奉祝して全国の神社で奉納されて以来、神前神楽の代表的な舞となりました。

今では氏子崇敬者の皆様にも親しまれる浦安の舞ですが、昭和十五年当時、奉祝祭に向け東京の渋谷國學院大學講堂等で、舞の指導者講習会が開催されました。富山県では当神社の櫻井秀三主典が指導者として受講し、当神社や出町

神明社をはじめ各地の講習会に出向き（写真①）、十歳から二十三歳までの女性約四十人に指導しました。

昭和十五年十一月十日、当時國幣小社であった当神社でも皇紀二千六百年奉祝臨時祭典（写真②）が行われ、浦安の舞が奉奏されました。またこの国民祭典は全国各地で盛大に行われ、「舞姫約三千名、国民一万人が神前奉唱し、国民をあげてお祝いをした」と、新聞等に記録されており、

（権禰宜 長谷川宏幸記）



（写真①）



（写真②）

浦安の舞  
天地の神にぞ祈る朝風の  
海の如くに波立たぬ世を

## 礪波神社参拝記

本年八月二日、北海道空知郡栗沢町礪波鎮座、礪波神社に宮司、藤井責任役員をはじめ総勢十一名で参拝いたしました。



当日は北海道らしい爽やかな気候の中、正式参拝をはじめ開拓移住が始まった明治二十年頃より三代目となる氏子の皆様と交流をさせていただきました。

交流会では地元で収穫された新鮮な野菜や果物がふるまわれ、和やかな雰囲気の中、神社の歴史や祖先の話、互いの近況を報告し、今後の更なる交流と発展を誓いました。

## 平成二十二年 全国一宮会総会開催

去る八月三日、蝦夷国一宮北海道神宮が担当となり「全国一宮会総会」が開催され、藤井宮司、藤井責任役員、浦權禰宜が参加しました。

「総会」では飯田清春会長（真清田神社宮司）が議長をつとめ事業計画・予算等が協議されました。

また、旭川ペインクリニック病院理事長の場光昭氏により「アイヌ先住民族とその真実」と題して「記念講演」が行われました。

翌四日には、小樽市内を巡る研修会が開催され親交を深めました。



### 平成二十三年「初詣献灯」の御案内

当神社では「初詣献灯」を実施致しております。

本行事は、初詣期間中に正参道両側に「提灯」を掲げ、来る新年が更なる輝かしい一年となるよう、尚一層の御神徳を授けて戴くことを願ひ奉納するものです。

一、「初詣献灯」は正月七日まで、境内等参拝者道筋に献灯いたします。

一、「初詣献灯」は、それぞれ正面に希望の芳名（会社・氏名等）を記入いたします。

一、献灯者の家内安全・商売繁盛の祈願祭を奉仕いたします。

一、献灯初穂料は、一基につき 金壺萬円御志納願います。

一、申込締切 十一月三十日までにお申込下さい。

※記載芳名 例（約八文字）

#### 一、会社

南砺市 (株)高瀬  
高瀬産業株式会社

#### 二、個人

高瀬 高瀬 太郎  
高瀬 太郎

### 御案内

#### 七五三詣 数え年

本年は次の通りです。

○七歳（女子） 平成十六年生

○五歳（男子） 平成十八年生

○三歳（男女） 平成二十年生

※十月一日より十一月末日まで、毎日午前八時三〇分より午後四時三〇分まで随時受け付けております。

#### 元服祝 (男子) 数え年

○十五歳（平成八年生）

#### 髪上祝 (女子) 数え年

○十三歳（平成十年生）

#### 戌の目 (安産祈願)

九月九日・二十一日

十月三日・十五日・二十七日

十一月八日・二十日

十二月二日・十四日・二十六日

祭典・結婚式等でご祈祷ができません時間帯もありますので、不明な点は社務所までおたずね下さい。

尚、十一月二十三日は新嘗祭斎行のため午後一時より受付いたしません。

### 第三十七回献茶式

十月二十四日（日）

午前十時斎行

（呈茶席・二席）

午前九時より午後二時三十分まで

（主 催）

高瀬神社献茶奉賛会

（薄茶席）

表千家流 橋爪孝仙社中

（煎茶席）

皇風煎茶礼式 橋爪孝雲社中

（茶 券）

一枚三千円（短冊・点心付）

#### 平成二十三年初詣奉仕巫女募集

初詣にご奉仕いただく巫女を募集します。

【期間】一月一日～三日

【募集人数】八十名

※詳細は社務所へお問合せ下さい。

#### 編集後記

今夏は記録的な猛暑に見舞われましたが、幸いにも献穀田の稲は順調に生育しました。これからの収穫が楽しみです。

これから季節の変わり目を迎えます。氏子崇敬者の皆様方には、どうぞご自愛下さいますよう、衷心よりお祈り申し上げます。

【表紙写真】

夕映え（井波）

# 七五三詣

お子様の健やかな成長を祝う七五三詣

高瀬神社にてお子様の衣裳（和装・洋装）レンタル及びご家族様のお衣裳レンタル、着付け、記念写真撮影を承りますので、社務所へお気軽にお問い合わせ下さい。 担当 黒田



## 七五三内見会

10月16日(土)・17日(日) 午後1時から午後4時

アマノ衣裳店の協力により、衣裳の内見会を開催いたします。是非この機会をご利用下さいませよう、お待ちしております。

## ブライダル相談会及びフェア情報

### 9月

| S  | M  | T  | W  | T  | F  | S  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |    |    |

### 10月

| S  | M  | T  | W  | T  | F  | S  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    | 1  | 2  |
| 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 |    |    |    |    |    |    |

### 11月

| S  | M  | T  | W  | T  | F  | S  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  |
| 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 |    |    |    |

### 12月

| S  | M  | T  | W  | T  | F  | S  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |

## 新春 ブライダル フェア

2011年  
1月1日

0:00~ 3:00  
9:00~17:00

ウェディングドレス試着  
商品展示  
見積相談等



■絆結フェア(要予約)10:00~16:00    ■挙式見学(要予約)10:00~15:00  
■一宮フェア(要予約)13:00、14:00、15:00    ■プチフェア 10:00~16:00

## 大切な衣類は、 早めのクリーニングを！

総合ドライクリーニング・一般リネンサプライ

## (株) 林クリーニング

南砺市本町(井波) TEL (0763) 82-0289

